

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ジョンF. ジャーム
 第 2550 地区ガバナー：栃木 秀磨
 事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142
 宇都宮グランドホテル内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



会長：村山 茂 幹事：植竹 一裕
 事務局：(株)植竹虎太商店内 植竹 一裕
 〒325-0056 那須塩原市本町 6-34
 TEL:0287-62-1123・FAX:0287-63-9228
 E-mail：k.uetake@coral.plala.or.jp
 例会：毎週水曜日 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2764回 村山年度 第30回 会報 2017 2-15 司会 豊田哲司君

会長挨拶 村山茂会長



皆様、今日は、12日のIMでは多くの皆様のご参加ご協力有難うございました。お陰をもちまして滞りなく盛会裏に終了することができました。

さて、本日は、話題の「働き方改革」について、なるほどと思う記事がございましたので紹介したいと思います。DIAMONDonline2017年2月13日付秋山進氏の記事の中で、そもそも働き方といっても一様ではない。現代の日本では大きく分けて4つの働くスタンスがあり、議論する場合、先ずそのことを理解しないと話が噛み合わない不毛な論争が展開されてしまう。それでは、その4つのスタンスとは？

○「仕事こそ生き甲斐」群

仕事を通じて人は成長する。仕事に没入して初めて自分の限界を超えていくことができると考える人たち。そこには「成果」と「能力の向上」があり、仲間と共に働く協働の喜びがあり、長時間労働を良しとしているわけではないが、仕事に没入していれば、それこそ寝食をわすれてしまう人たち。従って、彼らは時間によって管理される現在の人事労務の管理手法はまったくマッチしないと主張する。

○「ワークライフ充実」群

仕事だけでなく、家庭や趣味も仕事と同じくらい充実させていきたい人たち。場合によっては本業のみならず、副業やボランティアにも挑戦したいとも考え、多面的な活動をする中で仕事にも好影響

を与える知見や人脈が生まれてくることが多い。従って、メリハリのない時間による人事労務管理をやめて、もっと多様な人が参加できる柔軟な組織運営体制の方が企業にも個人にもメリットがあると主張する。

○「生活のために働く」群

人材市場で評価される高い職業能力を保有していない場合、低単価かつ長時間労働となってしまうことが多い。また、このような仕事は容易に代替えがきくため、賃金も上昇しづらい。現業部門や若年社員を中心に長時間労働を強いられることがあり、それでも生活を維持するためには綺麗ごとではなく、働かなくてはならない。心身に問題を抱えてしまうこともある。従って、彼らは、労働基準法の遵守や社員の健康管理などが強く求められるといった主張になる。

○「少しは仕事もしている」群

配偶者が定職に就いているので、自らの仕事によって得られる賃金に依存しなくても生活できる状態にあり、仕事に対してそれほど情熱もなければ、やりがいなども期待せず、税制の問題もあるため、多くの収入を求めている人たち。時間限定勤務のパート労働者がここに該当する。

以上のように筆者は働き方について、4パターンに分けて整理してはと提案しています。

これからが本題になる訳ですが、この中でひとつだけ共通項を持たないパターンがあります。皆様お気づきでしょうか？そうです、「仕事こそ生き甲斐」群です。他の3群は程度の差はありますが、「仕事」+「生活」という意識が共通しております。もうお分かりだと思いますが、改革の主要なターゲットは「仕事こそ生き甲斐」群です。最近も著名な企業が、社員の自殺をきっかけに労働基準法違反で摘発されました。会社の規模、立地、業種等により一概には申せませんが、加えて、少子高齢化に伴う労働力不足などなど、ネガティブな要素もござ

出席報告 出席委員会 安藤讓治君

(出席規定の免除会員数5名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 2月15日	38(5)	29(2)	9(3)	82.9%		
前回 2月12日	38(5)	31(2)	7(3)	88.6%	2人	94.3%
前々回 2月1日	38(5)	31(3)	7(2)	86.1%	4人	97.2%

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
 メール gavn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

います。また、人工知能AIなどの革新的技術の急速な普及などもございます。何れにしても、事業者としては何らかの対応に迫られていることは間違いありません。以上、本日の挨拶とさせていただきます。ご清聴有難うございました。



幹事報告 植竹一裕幹事



第12回理事・役員会報告です。

- 3月度例会スケジュールは予定通りですが、22日米山記念奨学会委員会の卓話は外来卓話となります。
- 社会奉仕研究セミナー講演会参加の件3月18日(土)宇都宮グランドホテルに於いて、「奉仕理念と実践活動」の題目で開催されます。参加費用として1クラブ5,000円の計上の件、承認されました。参加予定者は村山会長と室井委員長となります。
- 2017-18年度ロータリー財団補助金管理セミナー・研究会参加費の件次年度の地区補助金・グローバル補助金の申請資格を得るために参加料として、1クラブ3,000円の計上の件、承認されました。支払いについては、4月2日(日)開催の地区研修・協議会登録料と一緒にの振込となります。
- 5月10日(水)第1グループゴルフコンペ開催による、メイクアップの件高木慶一第1グループガバナー補佐より、開催日が黒磯クラブ例会と重複するため、出席率を勘案し、コンペ参加者に対するメイクアップを承認する件とそれに伴い、5月度の理事役員会を5月17日に開催日変更する件が上程され、村山会長の補足説明を行い、承認されました。
- NPO法人国際ロータリー日本青少年交換委員会が多地区合同奉仕活動であることを承認する件、村山会長より別紙による説明を行い、承認されました。
- 檜山達郎地区委員退任の件、高木茂次年度会長より、檜山達郎君から高齢のため、次年度地区委員を辞退したい旨申し出があり、理事・役員会としてこれを承認致しました。

第30回幹事報告です。

- 秋間年度1年交換留学生の磯杏子さんからのお土産を頂きました。皆さんのテーブルにお配り致しました。お召し上がり下さい。
- 那須塩原市より消防ポンプ車無償譲渡決定通知書が届きました。大島三千三国際奉仕委員

長にお渡し致しました。

- 第1回日本RYLAセミナーロータリアン参加の願いが届きました。澤田吉夫青少年奉仕委員長にお渡し致しました。
- 米山記念奨学会よりハイライト米山が届きました。檜山達郎奨学会委員にお渡しすると共に現在回覧しております。
- 大田原ロータリークラブから会報が届きました。現在回覧しております。

● 高木慶一 第一グループガバナー補佐



12日のIMでは鳥居実行委員長はじめ村山会長、植竹幹事、各委員長さん班長さん会員の皆様の心からのおもてなしで喜んで頂いたと確信しています。本当に大変お世話になりありがとうございました。お蔭様で、IMでどう扱うか難しい財団100周年を良い評価を頂いて終了できました。メインの「ロータリー財団100年の歴史を知ろう」パワーポイントのアナウンスをしてくれた、とちぎテレビの田崎好美アナウンサーからお礼のメールが来ましたので、読みます。「先日は大変お世話になり、ありがとうございました。私自信、原稿を通じてロータリーの素晴らしい取り組みについて理解を深めることができました。また、仕事を通じて皆さんと繋がりができたこと、嬉しく感じております。「水曜日の朝見るよ」とお声をかけて頂き、とても嬉しかったです。今日は皆さんの顔を思い浮かべながら放送に取り組んでいました。今後ともよろしく願い申し上げます。

第1グループの事業は後5月10日のゴルフ大会のホストを務めます、ご協力のほど宜しく願い申し上げます、お礼の挨拶と致します。



委員会報告 荒井昌一副会長



皆様こんにちは、委員会報告を受け付けますので、報告のある委員会は報告願います。

会計 鳥居輝一君



皆様改めまして今日は、会計からのお知らせでございます。

2月の引落の件、2月20日3項目御座います。

1. 60周年記念準備積立金 10,000円
2. クリスマス会費
大人1名4,000円
子供1名4,000円
3. 新年会会費 1名4,000円

続きまして、2月12日の日曜日に開催されましたIMでは、会員の皆様の御協力によりまして、つつがなく無事終了することが出来ました事、名ばかりの実行委員長の立場といたしまして衷心より御礼申し上げます。かさねて、高木慶一ガバナー補佐並びに村山茂会長、植竹一裕幹事そして会員の皆様方に改めて感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

ニコニコボックス 瀬尾紀夫君



村山茂君 多くの皆様のIMご参加とご協力ありがとうございました。

荒井昌一君 IM無事終了、村山会長おつかれ様でした。

月江寛智君 誕生祝ありがとうございました。

卓話 クラブ奉仕委員会 荒井昌一委員長

年度当初のプログラムでは28年12月14日がクラブ奉仕の卓話でしたが、2月のIM開催準備の実行委員会に振替となりました。また本日はインターアクト委員会の予定でしたが5月17日に変更して頂き、本日のクラブ奉仕委員会が担当となりました。宜しくお願い致します。

村山年度も1月を過ぎまして、年度の半分を折り返しましたので、クラブ奉仕関係の委員会の半年間の活動状況を本日発表頂きまして、残り半年間の活動に役立てて頂くようお願い致します。

● 親睦委員会 委員長吉光寺政雄君



村山年度親睦委員会は、委員長に吉光寺、副委員長に豊田さん、委員に佐藤博さん、遠藤さん、大島さん、戸野さんで活動しています。

親睦委員会では、村山会長の方針である、親睦の重要性を理解し、なるだけ全員に参加頂けるような楽しい例会を目指して活動してきました。

現在までの委員会活動としては、昨年5月31日に一回目の炉辺会議を開催しました。10月5日に八州会館内法要会席やしお縁において観月会を開催しました。11月24日に炉辺会議を行い、クリスマス会と新年会の企画や役割分担について相談しました。12月21日りんどう湖ロイヤルホテルにてクリスマス家族会、1月4日には、割烹石山さんで新年会を開催しました。

会員の皆様におかれましては、奥様やご家族も含めて多数のご参加を頂きましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

● 出席委員会 委員長安藤譲治君



出席委員長の安藤です。出席委員会は副委員長に遠藤さん、委員に大森さん、相馬さん、瀬尾さん、藤崎さんの6人で活動しています。

現在、会員38名、内出席免除者は5名になっています。

毎月の出席率は、7～9月が100%、10月99.3%、11月96.6%、12月93.6%、1月95.8%となっています。

メーキャップが無くなった方は4名いますが、メーキャップを有効に使って、出席率100%を目指しましょう。

たまに無断欠席をされる方が見受けられますが、欠席される方は必ず連絡をお願いします。

● 広報委員会 委員長植竹一裕君



広報委員長の植竹です。村山年度の活動報告を致します。

基本的にクラブの活動内容を発信することを目標に、社会奉仕委員会主催の「ふれあい広場」への参加風景、親睦委員会主催のクリスマス家族会・新年会の会場風景、デジタルフォトコンテストの開催等を、アップしております。他に、村山会長・大森会員の投稿されたねぶた祭の風景など、趣味の掲示もしております。今後は2月12日に開催されましたIMの会場風景等をアップしていく事になります。

また、当クラブの毎週開催されている例会報告の会報の掲示を行っております。ホームページは、基本的に新しい出来事をアップすることで色々な人々に黒磯ロータリークラブを知ってもらえる重要なツールと考えられます。ホームページは、常に更新されていると、外部の方の興味を引いてもらえれば、新規会員獲得の可能性も高まると考えます。

広報委員だけでホームページに掲載できる情報には限界があります。今後とも皆さまの投稿のご協力をお願いしたいと思います。

● スマイルボックス 委員長瀬尾紀夫君



スマイルボックスからです。(前期会員数35名×15,000円 後期会員数40名×15,000円)合計1,120,000円の予算を立てました。

平成29年2月1日現在756,000で達成率67.7%で早退等を加えますと770,600円、達成率68.8%です。

一人当たり年間30,000円以上を達成している会員は14名です。村山年度はあと5か月ありますが、なるべく早めに御協力をお願いします。

● 会報委員会 委員長稲垣政一君



村山年度、会報委員長を仰せつかりました稲垣です。委員長に私、副委員長に鳥居会員 委員に高木慶一会員 秋間会員 安藤会員です。

会報委員会、年間計画の中間報告を発表します。主な項目は二つです。

一つ目は、サポート切れで会報作成ソフトの変更項目がありましたが、検討の結果WindowsのPowerPointへ変更しました。レイアウトや見栄えに関して、まだまだ改善の余地が多々あります。他のクラブの会報や、その他媒体を参考に改善に努めます。

二つ目の配信期限に関しては、今までのところ期限までには配信できています。引き続き期限厳守に努めます。以上が、主要項目の状況です。

皆様のご意見ご指導を仰ぎながら改善に努めますので、今後ともご協力宜しくお願い致します。

以上、会報委員会、中間報告でした。

● クラブ史料委員会 委員長和気勝利君



皆さん今日は、クラブ史料委員会委員長を仰せつかっている和気です。前年の会長・幹事は皆さんご存知のようにクラブ史料委員会に配属されます。各諸先輩の会長さんから窓際族で良いよとお話を聞いておりましたので、大変そのお話有りがたく頂いて、私も副委員長の秋葉君も呑気(のんき)な状態を反省している次第です。反省を踏まえ、村山年度後期は資料室の管理・整備に努めます。

● 雑誌委員会 委員小野安正君



今日は黒澤委員長が欠席、委員である私が発表いたします。

本年度計画は

1. 「ロータリーの友」を月1回、那須塩原市内の公共施設に配布し、ロータリークラブの活動を地域社会の皆さんに理解して頂く。
2. 「ロータリーの友」「ガバナー月間」を会員に配布し情報を提供する。
3. 「クラブ委員会の活動」「地域関係の活動」等を「ロータリーの友」へ投稿して頂き有効活用を図る。

上記の計画通りに現在活動しているところです。

● 会員増強委員会 委員長平山博君



会員増強委員会、平山です。檜山達郎委員、高木慶一委員と共に行動しております。

会員増強0で、村山年度、役に立つことでできず申し訳なく思っております。

昨年8月の卓話で、会員増強の推薦をお願い致した所、5名の推薦をいただきました。思うようにいかず苦慮しております。折しも、2016年の規定審議会では、高齢化していくロータリーを止めるため、若い方、女性の入会を推進するため、ハードルを下げ、選択は自由に、細則を変えても仕方ないという事でありました。

2月12日のIMクラブ報告でも、現状維持のクラブと、すでに変更したクラブもありました。

村山年度は、現状維持、高木茂次年度は会長研修後に決定予定。会費、入会金の変更がなければ、さっそく行動いたします。

増強0の言い訳になってしまいました。早めの結論と、会員増強のなご一層のご協力をお願いいたします。

● 会員選考/職業分類委員会 委員長月江寛智君



平成26年日本標準産業分類表を参考にして、現状に合うように2007年の改定以降10年ぶりに分類の枠組みを改訂した。

8月末に新分類表を理事会に提出し、9月21日の例会卓話でロータリーの歴史と共に変化してきた会員の種類と職業分類の変遷をパワーポイントを使い解説し、同時に黒磯クラブにおける分類の経過も説明した。

● プログラム委員会 代理荒井昌一君

プログラム委員会委員長の鈴木久雄君が欠席、報告を預かっておりますので代読致します。

会員の皆様のご協力により例会・委員会の運営がスムーズに行われております。後半も毎月プログラムを例会場に掲示し、卓話担当委員会には1か月前には依頼、強化月間には担当委員に連絡、卓話を依頼する。以上、プログラム委員会の報告とさせていただきます。

クラブ奉仕委員長からの報告として、本年度の事業計画の中で“会員間の相互親睦並びに家族ぐるみの親睦の実行”の点で観月会、クリスマス会、新年会などクラブ全体での親睦行事は実践され親睦されたと思いますが、個人的にはどうでしょうか。私も含めて皆様方も何か楽しい思い出になる行事を行って頂きたいと思っております。

2月15日欠席(敬称略)

黒澤洋一・佐藤博・深町彰・鈴木久雄
鈴木隆子・遠藤清和・時庭稔・高木茂
福田逸男

2月12日欠席(敬称略)

石山桂子・小野安正・黒澤洋一・相馬征志
月江寛智・戸野俊介・深町彰

前回 2月12日分メイクアップ(敬称略)
石山桂子・相馬征志

前々回 2月1日分メイクアップ(敬称略)
秋間忍・小野安正・時庭稔・藤崎善隆

次回例会

平成29年2月22日

担当 会長 ③クラブ協議会

近隣クラブ例会日

- 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
- 水曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
- 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

- 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
- 木曜日 那須/ホテルエビナール那須 0287-78-6000
- 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105